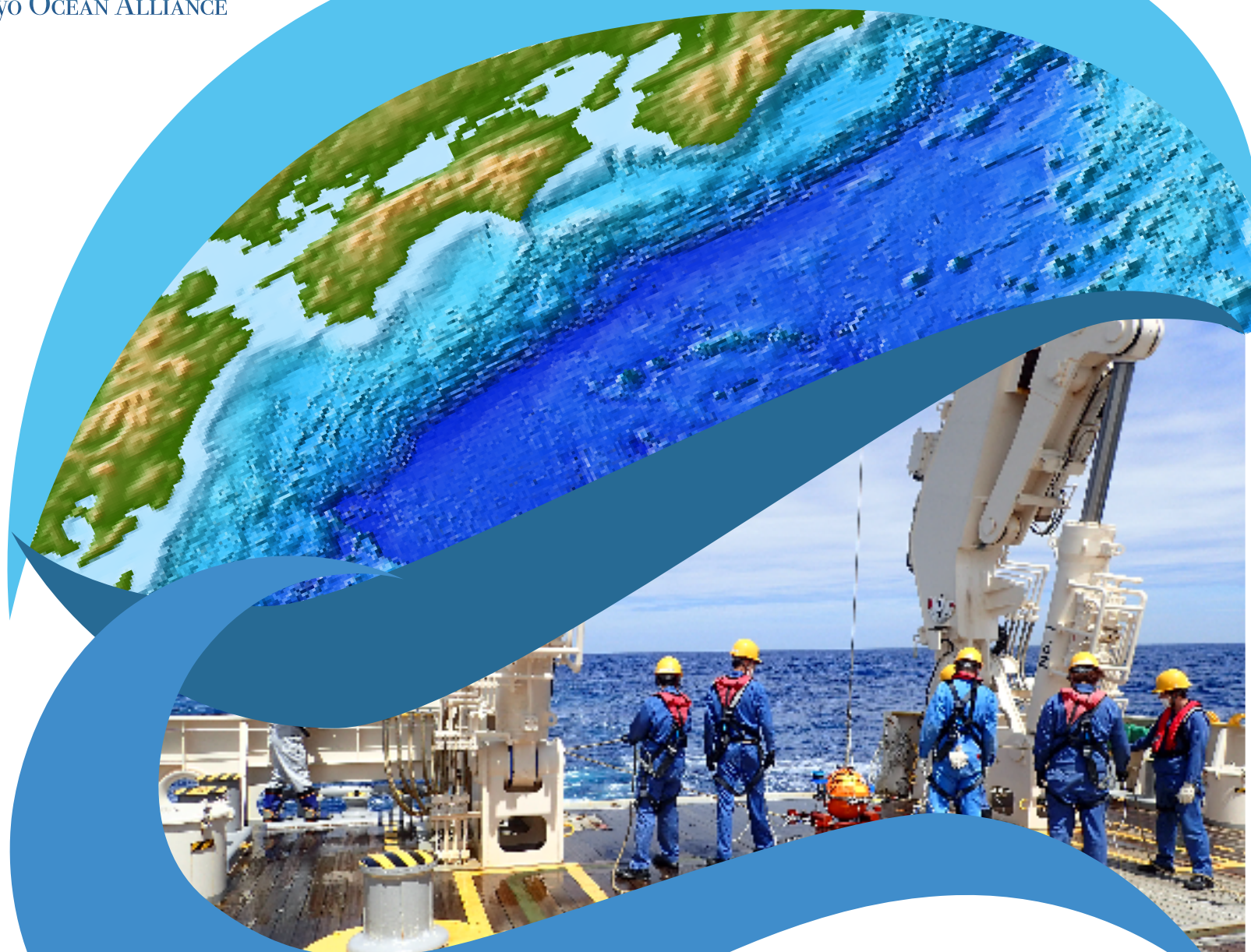


南海トラフ 地震を考える



第20回東京大学の海研究

海洋アライアンスシンポジウム

2025 年 10 月 28 日（火）13:00-17:30

東京大学農学部 弥生講堂一条ホール

- 【参 加 料】 無料（※閉会後の懇談会に参加される方は参加費 1,500 円別途）
【参 加 方 法】 QR コードよりお申し込みください。（参加登録は 10 月 27 日まで）
【問い合わせ】 海洋アライアンス連携研究機構事務局
Tel: 04-7136-6416 E-mail: oa-office@oa.u-tokyo.ac.jp
*定員（278 名）を超えた場合は抽選となります。



開会	開会挨拶 木村 伸吾（海洋アライアンス連携研究機構 機構長） 趣旨説明 沖野 郷子（海洋アライアンス連携研究機構 副機構長）
第一部：現況を測る	南海トラフ沈み込み帯の浅部で発生するスロー地震 悪原 岳（地震研究所） GNSS-A 海底地殻変動観測網（SGO-A）の現況と最新技術 横田 裕輔（生産技術研究所） 南海トラフ巨大地震発生帯の場：科学掘削から分かったこと 木下 正高（地震研究所）
第二部：過去を紐解く	史料からみた南海トラフ地震 杉森 玲子（史料編纂所） 海底堆積物からみた南海トラフ地震 芦 寿一郎（新領域創成科学研究科 / 大気海洋研究所）
第三部：未来に備える	沿岸集落・地域の未来を考える～必ず来る地震・津波とゆっくりとした「災害」への備え～ 加藤 孝明（生産技術研究所） 津波火災とその対策 廣井 悠（先端科学技術研究センター） 備えるための情報—令和 6 年 8 月 8 日南海トラフ地震臨時情報と社会心理— 石橋 真帆（情報学環） 地域特性を知り、備える—防災地理教育の可能性 小田 隆史（総合文化研究科）
第四部	アライアンス学生海外 2023 年度 国際原子力機関（IAEA）派遣 綿貫 成 インターンシップ報告 2024 年度 国際原子力機関（IAEA）派遣 中村 友哉
閉会 懇談会	閉会挨拶 林 昌奎（海洋アライアンス連携研究機構 副機構長）